

東大 文系数学(配点:80点)

合格科類	得点	全体	第1問	第2問	第3問	第4問
文科一類	35	1~3を完答し、4で部分点を稼ぐのが王道と思われたが、細かいミスで連発してしまった。	手を動かして図を描くことができれば難しくなかった。	どのような事象が条件を満たすかは明快だが、数え方がわからなかった。	正確に計算できれば完答できる。	完全にお手上げだった。
文科一類	35	開けると4が明らかにヤバそうだったので、他の3問で点を稼ごうと思った。難しい方が自分的にはよかったので(差がつかないから)、落ち着けたと思う。	完答した。できることが限られていたので、方針もすぐ定まった。	完答した。方針までかなり丁寧に書いたから、部分点でも稼ぐ算段でいった。	軌跡はかなり練習していたので自信はあった。(2)で焦りが生まれて、不完全燃焼。切り替えて2へ。	文字が多く、意味不明だったが、(1)には解答した。
文科一類	25	“易問”がなかったのかかなり焦った。本番後は2完した気では他教科に悪影響が及ばなかったのよかった。問題はちゃんと読もう。	一応完答したが、十分条件の証明が不十分なので10~15点くらいか？	5分悩んだが解法が全く浮かばなかったので捨てた。	一応完答したが、問題文の条件を見落としていたので減点があると思う。	(1)だけ解いてあとは捨てた。英断だったと思う。
文科一類	16	全然できず、焦り、取るべき問題も取れず、最悪なサイクルに行ったり来たりしていたので、所要時間もわかりません。すみません。	簡単そうだったと思うが、最後が合わず、自信のないうまま次へ。結局不正解。	時間がかかりそうだなと思い、後で戻ってきて粘っていた。計算ミスで不正解。	(1)で図形的思考ができず、死亡。	明らかに難しくそうなので(1)だけやってやめた。この判断の早さが数学では唯一の成功。
文科二類	33	難化していることに気付かず(←数学が苦手)、焦りに焦った。	途中までは順調。考えるパターンをしばらく切れず断念。	計算しきれなくなり断念したが、部分的には問題ないはず。なぜほとんど書けなかったのか分からない。	なぜほとんど書けなかったのか分からない。	(1)の部分点はもらえるはず、(2)、(3)は問題を読み解く力が残っていなかった。
文科二類	25	本番の緊張から思考停止や計算ミスで連発させて、全く力を発揮できなかった。答案回収の時点で不合格だと思った。それでも合格できたのは、2目で上手く気持ちを入れ替えて試験に臨めたからだと思う。数学が死んでも心が死ななければ合格できる。頑張れ！！	本番は難しいと感じたが落ち着いて振り返って見れば、そこまで難しいものではなかった。本番の緊張感、恐るべし。頭が真っ白になって手が進まなくなった。	一番簡単そうな問題。しかし実際にやってみると手が止まるという、いかにも東大らしい問題だった。私にはできなかった。でも諦めないでほしい。数字0完で合格した人がここに実際にいるのだから。	今年の中では一番簡単だったが、計算をミスった上に第2象限側を考えるのを忘れ第1象限側のみで解答を作ってしまった。やらかしてしまった。悔しい。うっかりミスには気を付けて。	(1)は普通の問題だったが、(2)(3)は意味不明だった。(1)だけ解ければ十分だと思う。(2)(3)を解けた人は私に周りにはいなかったもので安心してほしい。解けなくても落ち込まなくてよい。
文科二類	15	なかなか解けないなどは思ったが、試験中にパニックになることはなかった。無難に1完2半程度で切り抜けたぞと満足していたが日は0完1半。受験は恐ろしい。	見た瞬間にこれは解けると思ったが、終盤で詰まった。(解く必要のない不等式を解こうと苦心していた。)その結果本当に必要な条件を忘れてしまった。	「(1)は力づくで数えあげれば解けそう。他の大問が解けない以上ここで点を稼ぐしかない。」と思ったが、数えあげもあつげなくミス。部分点はあまり望めないか。	x^2-2x+4 のxについての微分を間違え、 $-x^2-x+4=0$ を解くのも計算ミス。(1)を間違えたまま(2)に突入するも方針が的外れ、解けるはずの(1)をまず正確に合わせたかった。	(1)すらよく分からない。とりあえず $a_{2-2}, a_{3-2}, a_{4-2}$ と具体的に値を書き出せば1点くらいもらえるかなと思ったが、 a_{3-2} の値を間違えた。すぐ妥協できるくらいには落ち着いていたはずだが...
文科三類	35	難しく心が少し折れそうだったが、まわりもできないだろうと思って鼓舞した。	失点しないよう気をつけたが、不等号に=をつけるのを忘れた。	解法が浮かばず、部分点を少しでも！と思ってかいた。	解き方は間違っただけでなさそうだが、遂におかしい数字になってしまった。	なんとか(1)だけ計算して力尽きた。
文科三類	25	僕は数学でノルマは1完、めざせ2完という戦略だったため第1問を完答できたことで安心できた。解くべき問題を見極めることが大切。	ただ1つの格子点が(0,1)であることの論証が不安だった。境界面を含まないことが少しややこしかったが、基礎だけだったのでしっかりやれた。	確率が出るたびに思っていたので面食らった。案の定できなかった。	(1)の答えは合っていると思ったが解法が合っているのかは分からなかった。	(1)だけ題意が理解できて、解き方も分かったが間違えてしまった。
文科三類	15	とにかく難しく感じた。当初は40点が目標だったが本番の問題を見て、1での完答を目標に粘った。	他の大問の完答が難しそうだったので、この大問だけでも解き切った。	方針は立ったが途中で詰めの甘さに気付き焦った。	ほとんど方針が立たなかった。	全く分からなかった。

東大 理系数学(配点:120点)

合格科類	得点	全体	第1問	第2問	第3問
理科一類	60	まず最初5分で全体を見てから解く問題を選ぶ。大問1で微積の簡単なものが出るかと思ったら違ったので、まずは別の問題に取り組んだ。	(1)でとりあえず背理法でやってみたらなんとなくうまくいって、(2)(3)もなんとなくやってみたら意外と解けた。(3)の場合分けの不足が残念。	一瞬、通過領域の問題かと思ったが、そうでもなくて図を描いてみるとやるのがわかる。	(1)(2)はすぐに手がつく。その後大問1、大問2をやった。(3)へ戻ってきたが、基本的な積分で解けた。
			第4問	第5問	第6問
理科一類	59	例年に比べて計算問題が少なく、考えさせる問題や論述で結果が決まるような問題が多かったです。	自明のように感じることをしっかりと論証しないといけない問題で、あまり慣れていなかったため解答に時間がかかった。	他の問題を見渡して複素数がなかったため、この問題は複素数を使って解くのだろうかと決めつけてしまいました。過去問の傾向にこだわりすぎるのはよくないです。	今年の数学で最も計算が重視される問題だったと思います。これは取れたなど実感していました。
理科一類	55	難しかったが、自分の目標である3完2半は(一応)達成したので、悪い気はしなかった。ミスもあるので70点はない。3の計算の確認に時間をとりすぎた。	問題を見て得意分野の整数と数列だったので完答を狙いに行ったのが間違いでした。(2)から難易度が急に上がったため(2)を答えるだけで大量の時間を使っでしまい、それ以降の焦りにつながりました。	図形の把握はできたのですが、焦っていたためうまく解答を書き上げることができず、答えはあっているのにちゃんとした解答になっていないという状態になりました。焦らなければそこまで難しい問題ではないと思います。	問題の意図が全く掴めなかったので手が出ませんでした。この問題は入試の合否にはあまり関係のない難しい問題だと本番では感じました。
理科一類	55	難しかったが、自分の目標である3完2半は(一応)達成したので、悪い気はしなかった。ミスもあるので70点はない。3の計算の確認に時間をとりすぎた。	最初3式を足してみると意味不明でとぼす。6の後泣きそうになりながら戻ってくる。しかし、図を書いた瞬間秒殺。	最初やっぱり意味不明でとぼす。だが後に図を書くと秒殺。今年のテーマは「図」だと確信した。	(1)(2)はとれなければならない。積分は必ず計算ミスすると踏んでいたのでも一回見直したのだから速報を見るとやっぱり間違えていた。
理科一類	55	最後まで諦めず、部分点をかせぎにいく姿勢が大事だと思う。	(1)はまだ簡単だったが、(2)(3)は何を言っているのかさっぱり分からなかったためパスした。	(1)はとらなければならない。(2)は立体の中を動く点という自分では初見の間だった。色々考えたが正直この時間は無駄であった。	ここにたどりついたのが、試験開始後100分の絶望感しかなかった。
理科一類	55	最後まで諦めず、部分点をかせぎにいく姿勢が大事だと思う。	1問目で完答する予定だったのに、全くできなくて焦ってしまった。	座標を置いて解答してしまったので、論理性が少し不安。	計算が多かったが、解法が見えやすかったので完答できた。
理科一類	50	開始してから問題を見渡したときの、知らない問題(しかも東大の)が並んでいる底知れぬ恐怖に圧倒されてしまった。	最初どうしたらよいのか全くわからなかったが、(1)だけは解けてよかった。	(2)は、考えたが解けなさそうだったのでやめた。	これも(1)だけ丁寧にやっで終えた。
理科一類	50	開始してから問題を見渡したときの、知らない問題(しかも東大の)が並んでいる底知れぬ恐怖に圧倒されてしまった。	論証は大学の先生は厳しく見そうだから、丁寧に書いたが、やりすぎた感じがする。	座標平面を設定し解き始めるも見通しが悪く、一旦飛ばして戻ってから方針を変え再度解いた。	(3)まではふつうにでき、(4)はめんどくさそうだったのでDだけ図示した。
理科一類	50	開始してから問題を見渡したときの、知らない問題(しかも東大の)が並んでいる底知れぬ恐怖に圧倒されてしまった。	(2)から分らずパニック気味になる。	(1)だけ解いた。(2)は後回しにしようと思った。	(1)に直感的には明らかだが、論証できなかったのでも、とりあえず図だけ書いた。(2)はパニックで文が頭に入ってこなかった。

東大 理系数学(配点:120点)

合格科類	得点	全体	第1問	第2問	第3問
理科二類	80	この1年、10回冠模試を受けて、80点以上が1回しか出ていなかった自分にとっては、上出来の感触。「解けなさそうな解法を使って時間を潰さない」とこと、「(1)ができなくてもそれを使って(2)ができそうなら絶対に解く」という姿勢が大事だと思う。	最初はどこから手をつけてよいのかわからなかったが、落ち着いて条件を眺めたら、自然と道が開けた。	「面積を答えさせるのに図示させない」ということは、面積は求めやすいが図形を式で表すのはたいへんなのだらうと思い、座標などのアプローチは避け、初等幾何で攻めた。結果、これが功を奏した。	(1)(2)は頭を使わなくてよいので最初にやった。精神的安定を得られる問いから手をつけるのは非常に重要。(3)は積分計算の前までできてわからなかったので、1回とばした。試験ラスト5分で戻ってきてやったらできた。
			第4問	第5問	第6問
理科二類	60	全然できなかった。それでも小問を必死に取るのが重要。今回は難しい問題が多かったので、完答できそうな問には時間をかけること。	題意をいかに読み取れるか。焦りは禁物。	説明は丁寧に。たぶん領域自体はすぐわかる。	時間をかければ取れる問題。(自分は(3)はできなかった。)数Ⅲの基本問題もきちんとできるように。
理科二類	50	初めに全体を見通して、どれも難しそうで少し焦った。今年は自分が解ける問題を見極め、できるだけ速く(もちろん正確に)解き、難しい問題にどれだけ時間が割けるかが勝負だった気がする。	最初抵抗感があったが、解いてみると意外に簡単だった。論述に不安あり。	最初から座標で解こうとして、初等幾何で解こうとしなかったため陥落。この問題は解きたかった。	計算ミスなどで時間がかかってしまったが、何とか正解にたどりつけた。
理科二類	40	最初の1.5hで3完したい。ミスを防ぐのと図形的考察が大切。	ふんわりした証明になったが、仕方ないと思って勢いにのった。	京大っぽい誘導のなさだったが、京大の問題をやっていたので驚かなかった。	絶対取るべき大問。ミスった…。
理科二類	30	普段通りやっていたはずなのに全くわからなかった。	整数問題が苦手ですぐわからなかった。	とりあえずそれっぽいことを書けなかった。	計算ミスがないか注意した。
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	添え字がずれていてやり直しに時間がかかった。	ゴリ押しすれば解けると思ってたけどムリだった。	全くわからなかったのですがすぐに捨てた。
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	最初から方針が見えづらい問題であった。頭が働いておらず、時間がかかりかかってしまった。	大問1で時間を使ってしまい、急いだ結果、くだらないミスをしてしまった。この問題も方針が見えづらかった。	典型問題であり、確実に完答した。回転の向きが反時計回りだと勘違いしていた、見直しで間違いに気付いた。
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	(1)は解いて、あとはすぐに諦めた。	この問題もできれば全部解きたかった。	難しかった。おそらく0点。
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	(1)は簡単な。一般解をシグマで求めるのは難しそうだったので、数学的帰納法で解いたが、予想解を出すのに時間を食った。(2)(3)は自分の実力では厳しそうと判断し、早めにとばした。	(1)は簡単。(2)は試験中は解けたと思ったが、後に問題文を読み、間違えていたと発覚。時間をかければくらえつけそうな問いだっただけに勿体ない。読み間違いには十分に注意するべき。	(1):「少なくとも4つの解」という書き方から、「まともに微分してグラフを描くのではないだろう」と思い、中間値の定理を用いようと考え、方針だけ書いた。(2): (1)はできなかったが、(2)でそれを使うことはわかったので、頑張ったら半分は解けた。
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	(1)は取る。以降は手つかず。	取るべき大問の気がするが工夫できず。	
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	第4問	第5問	第6問
理科三類	87	難化した。焦って取れる問題を落としてしまい、他の科目でもミスが続出してしまった。気持ちの切り替えは非常に大切だと痛感した。全体的に例年よりも思考の柔軟性が問われた年であった。	(2)からは発想力が試される問題だった。頭が働いておらず、解けなかった。試験が終わった後解けたが、手遅れだった。	求積問題は対策済みなもので、自信を持って完答することができた。努力が裏切られない分野だと思った。	(1)で微分法にこだわってはいけぬ。(2)では高度な論理的思考力が試された。rの最大値は予想できたが、証明する時間が無かった。